

2005年9月1日発行(毎月2日・15日発行) 第159号(通巻119号)
1987年2月18日創刊

pen

with New Attitude

9/1
2005 No.159
500 yen

男のスタイルに、
知性を。
'05年・秋冬ファッション全ローマ&近郊ロケ

とじ込み付録

いま手に入れた
服と小物カタログ



São Paulo

未来都市サンパウロ

目次 高木・文ノ写真
text & photographs by Tateyuki No

「寒いってなんだか素敵!？」 箱庭スイスへようこそ。

サンパウロはただ今冬のまっさなか。そんな時期にさらなる寒さを求めて富裕層が訪れる町がある。市内から北東190kmに位置するカンポス・ド・ジョルドン。気温が氷点下を下回ることもある山間の町で、学校が休みになる時期は家族連れで観光客が大賑わい。

町でまず目を引くのは、アルプスの山荘を模した別荘やホテルの建築で、普段見知った“ブラジル”とは大きく違うのが新鮮だ。

食の人気はフォンデュとマス料理。寒さを味わいに来ているのだからと、店内よりオープンカフェでの食事が人気なのも面白い。

訪れた7月は毎年恒例のクラシック音楽の祭典が催されていた。町外れの公会堂で行われる演奏会に、普段着る機会の少ない毛皮のコートをわざわざ着込んで臨む女性もいて、ここまでくるとはや滑稽。つまるところこの町は、寒さへの憧れが形になった“箱庭スイス”なのだ。サンパウロからバス3時間で“白い息”が楽しめ、日常の“ブラジル”を忘れさせてくれるのがうけている。ちなみに姉妹都市は軽井沢。なるほど!



上: スイス山荘風の建築が街のあちこちに、手前は人気スポットの「アホーニル」ハーデン・ハーデン。左: ニュークなパナトンが咲



右: 1階層の個室列車が町をゆく。左: フォンデュ体験。写真は人気店「カンポス・ド・ジョルドン」



美女の宝庫ブラジルで、 シンデレラを探せ!

モードの祭典サンパウロ・ファッション・ウィークでは新人モデルの発掘も注目だ。スポンサーの携帯電話会社TIMが行う「ドリームTIM」は、エージェント各社から選ばれたモデルがシンデレラの座を競うもの。

ノミネートされたモデルたちはTIMが出演料を払い、デザイナーのショーに登場。彼女らの立ち振る舞いをファッション・ジャーナリストの面々が採点するのだが、一般客もインターネット&携帯電話から投票できる。今回参加した41人の中からジャーナリストが選出したのは、ヨーロッパ系美女の多い南部出身のカーリー・ムリエ。そして一般投票で選ばれたのが、元気な笑顔が印象的なカリリーナ・ジェナリ。審査員選出のカーリーは、TIMの広告モデルに登場することが約束された。さて2人はどういう道を歩むのか。サクセス・ストーリーをぜひ期待したい。

祝優勝&サポーター暴走、 嬉しいけれど困ります!!

南米クラブ王者を決めるリベルタドーレス杯で、サンパウロFCが12年ぶり、ブラジル最多の3度目の優勝を果たした。決勝第2戦が行われたのはホームのモルンビー球場。7万人超の観衆が見守るなか、対するアトレチコに4-0で勝利し、栄冠を手にした。

しかし問題はその後。ビッグゲームの後にサポーターが乱痴気騒ぎをするのは今に始まったことではないが、深夜に約1万5000人のサポーターがパウリスタ大通りに集結、戦場さながらの破壊工作を行ったのだ。

バスの天井は乗っ取られ、公衆電話、地下鉄連絡口は破壊、雑誌スタンドや商店は強奪の被害にあった。商店オーナーなどが安全対策不備を理由に、州を訴える姿勢を見せているが、当日350人を送り込んだ軍警は不備を否定しており、泣き寝入りは想像に難くない。良くも悪くも、サッカーがこの国を大きく動かすことをあらためて感じた一夜だった。



上:被害を報じた新聞。左:次は世界一だ! サンパウロFCはトヨタ杯出場のため12月に日本上陸。お楽しみに。



暴徒化したサポーターに破壊、強奪された雑誌スタンド。



上:投石などによって入り口のガラスが破壊され、約20万レアルの被害を被った地铁口。右:ゴミ箱もこの通り。良識ある市民はみな怒っています。